

1 本園の教育目標

たくましく自立できる子どもに育てよう
 ・心身ともにいきいきした子 ・意欲的に遊べる子
 ・心ゆたかな子 ・個性を認めあい、たすけあえる子

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

努力目標
 いっぱいあそぼう いっぱいかんじよう
 ～異年齢活動を通して～

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目の達成及び取組状況	結果	理由
努力目標の達成をめざして	B	子供の自己肯定感を高められるよう異年齢活動を意識して保育に取り入れた。自然と憧れの気持ちや慈しみの気持ちをもつことができ、自分への思いも高められた。
職員の資質向上をめざして	B	保育・教育が豊かになるよう、いろいろな角度から研修を行った。各歳児に向けて、職員が保育に取り入れるよう務めた。
特別支援教育の推進	B	巡回相談や研修などで学んだことを職員間で共有し、子供の育ちにに応じた対応を心掛けた。又、安心して小学校へ行けるよう丁寧な引継ぎを行った。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	子供達・保護者が、安心安全に通うことができようにならなところを気付けてきた。そして子供達が主体的に活動し、友達と繋がれるような保育内容を検討し行ってきた。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
一人ひとりの個性を大切にされた教育・保育内容	一人ひとりの個性を見守りながら、お互いの良さに気づき、認め育ちあえる関係づくりを行う。
行事について	行事の取り組み方や、異年齢での関わり方、保護者へのアプローチなどについて、これまでに振り返りながら検証していく。
安心安全な幼稚園	防犯・防災の避難訓練を行うことや、受付員や校務員への園内巡視の重要性を伝え、危険箇所などについてはすぐに対応するように努める。

◎3.4. の評価結果の表示方法

A十分達成されている B達成されている C取り組まれているが成果は十分でない D取組が不十分である